

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		選挙管理委員会運営				整理番号	855	枝番号			
担当部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000	連絡先電話番号	3803	昨年度整理番号	861	昨年度枝番号	
係名		上位施策名						No			
予算事業名		選挙管理委員会運営		コード	08000	政治意識の高揚と政治参加の促進			73		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		22 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 選挙管理委員会、選挙管理委員会連合会		(1) 地方自治法第181条～194条 (2) 杉並区行政委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例 (3) 検察審査会法第9条～12条						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		選挙管理委員の活動に対し報酬及び費用弁償を支給することにより、職務遂行を補償する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区の執行機関として明るく公正な選挙の管理・執行を行う。投・開票環境の整備と向上を図る。						
	活動指標名(式)		(1) 定例会開催日数 (2) 費用弁償支給延人数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 予算の執行率(代) (2)						
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%
	活動指標(1)		回	39	45	42	45	37	45	45	82.2
	活動指標(2)		人	208	225	218	225	210	225	225	93.3
	成果指標(1)		%	96	100	98	100	95	100	100	94.9
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	14,507	14,620	14,330	14,667	13,912	14,567	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0		
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	0		
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.20   0.00	1.20   0.00	1.20   0.00	1.20   0.00	1.20   0.00	1.20   0.00	1.20   0.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	10,920	10,872	10,872	10,872	10,872	10,872	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	25,427	25,492	25,202	25,539	24,784	25,439		
	単位あたりコスト( - )÷		円	651,974	566,489	600,048	567,533	669,838	565,311		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	25,427	25,492	25,202	25,539	24,784	25,439			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)	
		委員報酬						48	人	12,799	
		委員費用弁償						210	人	1,113	
		その他 ( )								0	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 855 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	82.2	活動指標(2)の 18年度達成率%	93.3	18年度予算 執行率%	94.9
		選挙管理委員の活動に対するものであるため、執行率は高い。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年11月1日より「杉並区行政委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例」が一部改正となり、日額6,000円としていた費用弁償を廃止し、費用を要した都度その実費相当を計算して費用弁償としての旅費を支給する取扱いとなった。 このことにより、委員費用弁償の予算額が大幅に削減された。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成10年6月より選挙人名簿の定時登録回数が年4回に増え、同年の参議選からは不在者投票事由の緩和・手続きの簡略化、投票時間の延長がなされた。12年の衆議選では初めての在外選挙が行われ、さらに16年の参議選から郵便等投票制度や在外投票制度の改正、期日前投票制度の創設により、選挙人の便宜及び投票環境の向上が図られている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	公職選挙法の改正が予定されている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 選挙管理委員会は公正な選挙を行うための執行機関であり、委員会の適正な運営は必要不可欠である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 公正な選挙の管理・執行の実現は、法令に基づき行われるものであり、成果を向上させる性質のものではない。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 選挙管理委員会運営において、受益者負担は存在しない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 委員の報酬・費用弁償等、必要経費は固定的である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 : 選挙管理委員会の設置は法定事項であるため。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 庶務事務システムの稼働等事務処理の電算化が進み、委員会運営においてもさらなる事務改善を行い、効率化を進めていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 選挙管理委員会は独立行政委員会であるため、区長部局とは異なった流れで事務処理を行わなければならないこともあり、電算化できない事務も発生する。今後も庶務事務システム等を活用した事務処理の研究・改善を行なう。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	選挙管理委員会運営に必要な経費であり、これまでも経費節減に努め、適正な予算の執行管理が行われている。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		選挙管理委員会事務局一般管理(庶務事務)					整理番号	856	枝番号			
担当部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000	連絡先 電話番号	3803	昨年度 整理番号	862	昨年度 枝番号		
係名		上位施策名							No			
予算事業名		選挙管理委員会運営		コード	08000	政治意識の高揚と政治参加の促進				73		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		22 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 選挙人名簿登録者、選挙管理委員、選挙管理委員会連合会、選挙管理委員会事務局職員		(1) 公職選挙法 (2) 杉並区選挙管理委員会処務規定 (3) 検察審査会法第9条～12条							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		在外選挙人名簿調整等、法令に基づく事務を適正に行う。選挙管理を行うために必要な情報、連絡を充実させる。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 公正な選挙及び関係法令に基づく適正な選挙の管理・執行を行う。							
	活動指標名(式)		(1) 職員数 (2) 在外選挙人名簿登録者処理件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 予算の執行率(代) (2) 在外選挙人名簿登録事務委託金収入率(対予算)							
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	16	15	15	12	13	12	12	108.3	
	活動指標(2)		件	248	250	359	250	317	300	250	126.8	
	成果指標(1)		%	69	100	63	100	65	100	100	64.5	
	成果指標(2)		%	105	100	162	100	142	100	100	142.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	964	1,812	1,149	1,846	1,191	1,833	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	63	63	63	63	63	63			
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.80   0.00	1.80   0.00	1.80   0.00	1.80   0.00	1.80   0.00	1.80   0.00	1.80   0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	16,380	16,308	16,308	16,308	16,308	16,308		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	17,344	18,120	17,457	18,154	17,499	18,141			
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,084,000	1,208,000	1,163,800	1,512,833	1,346,077	1,511,750			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	17,344	18,120	17,457	18,154	17,499	18,141				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		全国市区選挙管理委員会連合会等経費						8	件	206		
		旅費						57	人	188		
		交際費						8	件	37		
		その他 (管理事務費 )						1	式	760		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 856 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	108.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	126.8	18年度予算 執行率%	64.5
在外選挙人名簿の登録は本人からの申請によるため。						

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成11年度から国外に在住する選挙人を対象とした在外選挙人名簿調製事務が開始された。当初、登録者数は約1,200名と横ばいの状態が続いていたが、17年の衆議選を契機に徐々に登録者が増え始め、18年の在外選挙制度の改正による登録手続きの簡略化や、選挙区選挙も投票可能となったことでさらに国政への関心が高まり、現在の登録者数は約1,600名と、増加傾向にある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	
	今後の予測	さらなる投票環境向上のため、公職選挙法の改正が予定されている。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 選挙管理委員会の事務を行うため、必要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 公正な選挙の管理・執行の実現は、法令に基づき行われるものであり、成果を向上させる性質のものではない。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 選挙人名簿登録等、法律上当然に行う事務であり、受益者負担を考える余地はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 本事業は公正な選挙を実現するために選挙管理委員会事務局として必要な一般管理を行っているものであり、大幅なコスト削減の余地はない。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題
	(3) 協働等の形態	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 統合内部情報システムの活用により、定型業務の効率化を行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 選挙時と通常時の繁忙の差が大きく、人員の配置も変わる等、継続的な改善が難しい。また、行政委員会であるため、文書管理方法が区長部局と異なる等、効率化が進んでいない事項があるため、事務処理方法を見直しながらさらなる効率化を検討する。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 庶務事務システム等の新システムを検証しながら、行政委員会としての事務改善を検討する必要がある。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		明るい選挙推進協議会等活動費						整理番号	857	枝番号		
担当部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000	連絡先電話番号	3804	昨年度整理番号	863	昨年度枝番号		
係名				上位施策名					No			
予算事業名				選挙常時啓発		コード	8200	政治意識の高揚と政治参加の促進			73	
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		32 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住の有権者が中心であるが、推進活動は区民すべてが対象ある。		(1) 公職選挙法第6条・第261条の2 (2) 公職選挙法施行令第133条～137条 (3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			選挙犯罪など、歪んだ選挙を排し、選挙が公明かつ適正に行われ、区民の意識が政治に正しく反映されるよう話しあい活動をする。								
	活動指標名(式)			(1) 話しあいの会 (2) 話しあいの会参加延べ人数								
			事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 明るい選挙の推進と政治意識の高揚を図り、投票への参加を促す。									
			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 明るい選挙推進委員の活動延回数 (2)									
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)		回	86	300	73	300	106	300	300	35.3	
	活動指標(2)		名	1,871	5,000	1,760	5,000	2,376	5,000	5,000	47.5	
	成果指標(1)		回	350	850	168	850	234	850	850	27.5	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	911	1,435	1,176	1,192	950	1,471	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.47	0.47	0.47	0.25	0.37	0.37	成果指標(1) 都の方針で16年度を最後に話しあいの会の強調月間が中止となったが、18年度は推進委員の委嘱があったため増加した。 国・都等からの支出金 国の経費削減のため16年度を最後に中止となった。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,277	4,258	4,258	2,265	3,352	3,352			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	5,188	5,693	5,434	3,457	4,302	4,823			
	単位あたりコスト( - )÷		円	18,977	74,438	11,523	40,585	40,585	40,585			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	1,500							
特定財源計 +		千円	1,500	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	3,688	5,693	5,434	3,457	4,302	4,823				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			話しあいの会推進委員謝礼					202	回	445		
			推進委員委嘱資材					125	個	79		
			啓発資材郵送料					1,108	通	179		
			東京都推進大会自動車借上					36	名	100		
			その他 (推進協議会謝礼等)					127	回	147		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 857 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	35.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	47.5	18年度予算 執行率%	79.7
	明るい選挙推進活動の指標として、話しあいの会の開催回数を上げているが、推進活動はそれだけではなく、報告書の数値では測定できない部分がある。しかし、115名の推進委員の中には平成18年度中、1度も話しあいの会を持たない委員が半数以上もあり、開催に際しての助言が必要とされている。また、16年度より話しあいの会の強化月間が中止になった。					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	明るい選挙推進委員の委嘱があったため、話しあいの会の開催数が増加した。
---	-------------------------------------

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・当初は区民の生活と政治及び選挙の関わりや仕組み等、明るい選挙の理解を深め実現していくことであったが、現在では、政治や選挙に対する意識の高揚を中心とし、特に若年層の投票率の向上に力を入れ活動している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・啓発資材を活用して、新たな話しあいの会の活動を持つことができた等、啓発資材が活動に役立つとの意見がある。 ・明るい選挙推進委員のあり方や活動内容について、あまり理解されていない。明るい選挙推進委員の活動を広く紹介してほしい。との要望がある。
	今後の予測	近年の低投票率の背景には、若年層の選挙への無関心さなどが指摘されるが、今後もこの状況は継続すると思われる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 区民の意思が政治に反映され、住み良いまちづくりへとつながっていく。 現状は、高齢者の活動に集中している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 本事業の目的は、第1義的には「投票参加」「明るい選挙の実現」であるが、究極的には、国民の政治意識の向上が不可欠であるが、短期的で政治意識の高揚を目指すことは困難である。 理由または具体的内容: 特に若年層の政治への無関心が顕著となっており、政治意識を醸成する取り組みを有権者のみならず、未成年者へも拡大して行う必要がある。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 本事業の実施に伴う直接的な受益者負担が発生しないため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: もともと明るい選挙推進活動は、民間ボランティアによる活動である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題: 1度も話しあいの会を持たない推進委員への助言と、1年を通じて選挙執行の有無に関わらず、あらゆる機関、団体等の協力を得て啓発活動を展開する必要がある。特に若年層の政治意識の向上を図るため、未成年者をも含めた活動への参加誘導を進める。
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後、啓発活動の一部に学生等の未成年者を含めた若年者を誘導し、活動を通じて政治参加の現況や選挙の重要性を認識してもらい、若年層の政治意識の向上を図る。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 本務である学業(学校)との時間の両立と、活動参加への動機付けが困難であり、大きな阻害要因と考えられる。しかし、ボランティア活動等を通じて社会参加に意欲を持つ学生もあり、こうした学生等にボランティア活動の場としてアプローチすることが考えられる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現行の事業を継続して取り組むことを基本とし、活動主体を拡大するため。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		「選挙だより」等の発行					整理番号	858	枝番号		
担当部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000	連絡先電話番号	3804	昨年度整理番号	864	昨年度枝番号	
係名		上位施策名							No		
予算事業名		選挙常時啓発		コード	8200	政治意識の高揚と政治参加の促進				73	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		51 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 おもに区内在住の一般有権者		(1) 公職選挙法第6条 (2) (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内一般有権者向け選挙情報機関紙「杉並選挙だより」の発行～配布方法～区施設や区内駅公報スタンドを使用し配布。「明るい選挙推進委員」による配布		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・選挙執行期日等の周知、公職選挙法改正点の周知、選挙は、有権者が政治に参加し主権者として意思を政治に反映させることができる基本的かつ最大の機会であるということを再認識してもらう。						
	活動指標名(式)		(1) 発行部数 (2) 発行回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 配布部数 (2)						
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	部	18,000	18,000	9,000	18,000	18,000	18,000	18,000	100.0	
	活動指標(2)	回	2	2	1	2	2	2	2	100.0	
	成果指標(1)	部	18,000	18,000	9,000	18,000	18,000	18,000	18,000	100.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	620	708	383	708	643	708	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円								
	(内) 委託費		千円								
	職員数 (常勤   非常勤)		人	0.96	0.96	0.96	0.47	0.86	0.86		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,736	8,698	8,698	4,258	7,792	7,792	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	9,356	9,406	9,081	4,966	8,435	8,500		
	単位あたりコスト( - )÷		円	520	523	1,009	276	469	472		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	9,356	9,406	9,081	4,966	8,435	8,500			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)	
		選挙だよりの発行						18,000	部	567	
		選挙だより送付郵送料						250	通	76	
		その他 ( )								0	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 858 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	90.8
----------------------------	----------------------	-------	----------------------	-------	----------------	------

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	第98号から区公式ホームページ・区政資料に掲載。第100号からA4版の大きさに変更し、情報量を増大。また選挙特集号においてモバイル版QRコードを掲載し区公式HPと連動化できるようにして、情報発信能力を強化した。					
---	---	--	--	--	--	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	創刊当初は明るい選挙推進委員の情報機関紙として500部の発行であったが、政治への無関心層の増大・投票率低下という時代の流れにともない、段階的に増加した(明るい選挙推進委員機関紙は「すぎなみ推進委員だより」として別に年2回発行)。現在は、年間18,000部を発行しており、一般有権者向けの情報機関紙であるとともに選挙啓発PRチラシという性格も併せ持ったものに変化してきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	明るい選挙推進協議会活動事業の「話しあい活動」を行うにあたり、各委員より参考資料として有効であるとの声が多い。
	今後の予測	政治への無関心、低投票率の傾向は依然として続くものと思われる。特に昨今では情報収集の手段が多様化しており、これに対応した情報の提供が必要である。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:政治への無関心、低投票率等、選挙に関わる問題を解決するための1つの手段である。統一地方選挙世論調査(平成15年度版)によると、「選挙に関する情報を何で知ったか」との設問で「選挙だより」との回答が28.6%を占めている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:ネットユーザー向けに、リンクバナーの貼り付け位置の工夫やバナーの個数を増やすことにより、アクセス数を増加させる。 理由または具体的内容:インターネットユーザーの増加が顕著であり、電子媒体を有効に活用することが必要である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:広域的、一般有権者向けの啓発紙であるため、受益者負担はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:改革案に記載

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題:明るい選挙推進委員のための情報提供的役割を担っており、「推進委員から一般有権者」が配布手段の一つとして確立している。区と推進委員の役割分担が明確ではないので今後明確にしていく必要がある。
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・個人が情報を取捨選択する現代において、一つでも多くの方法により情報を提供することは、選挙管理委員会の責務である。本紙の発行部数は18,000部と限られているため、引き続き当区のホームページに本紙を掲載し閲覧可能としていく。 ・区や関連団体の印刷発行物を把握し、選挙だよりの一部の情報を掲載するよう依頼する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・インターネットユーザーは対象者が不特定多数となるため、前もって活動量の数値が把握できない。 ホームページ上にアクセス実績のカウンターを設けることにより、ある程度の活動量の推定算出は可能となる。 ・地方選挙時に実施する世論調査において成果を確認することができる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 選挙だよりは年2回発行しているが、平成17年度は選挙時と重なり1回分を選挙費で発行したため、予算執行実績が減となったが、平成20年度は任期満了による選挙が予定されていないため年2回発行分の予算を見積もるため。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		明るい選挙ポスターコンクール					整理番号	859	枝番号			
担当部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000	連絡先 電話番号	3804	昨年度 整理番号	865	昨年度 枝番号		
係名		上位施策名							No			
予算事業名		選挙常時啓発		コード	8200	政治意識の高揚と政治参加の促進				73		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		23 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住・在学の児童・生徒(小・中学校・高等学校の生徒)				根拠法令等 (1) 公職選挙法第6条 (2) (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		東京都が主催する同事業の実施時期とあわせ、対象者から応募のあった作品を審査し、賞状・記念品などを授与する。また、応募者の多数あった学校にも、学校協力校として感謝状を授与する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・対象者に早期から選挙・政治に関心を深めてもらい、次世代に向けての選挙・政治意識の高揚を図る。 ・対象者の保護者等に選挙は政治に参加する最大かつ基本的な機会であることを再認識してもらう。					
	活動指標名(式)		(1) 募集数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 応募学校数 (2) 応募作品数					
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%		
指標	活動指標(1)		部	400	400	349	400	350	400	87.5		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		校	20	30	16	30	17	30	30	56.7	
	成果指標(2)		点	288	350	271	350	311	350	350	88.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	161	239	183	239	170	239	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.29	0.29	0.29	0.15	0.19	0.19			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,639	2,627	2,627	1,359	1,721	1,721		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	2,800	2,866	2,810	1,598	1,891	1,960			
	単位あたりコスト( - )÷		円	7,000	7,165	8,052	3,995	5,403	4,900			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	2,800	2,866	2,810	1,598	1,891	1,960				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		ポスターコンクール記念品					441	個	170			
		その他 ( )							0			

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 859 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	87.5	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	71.1
		・記念品の内容を見直し、年齢や実情にあったものに変更するなど予算節減に努めた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		広報すぎなみ6/21号、区公式ホームページ、イベント情報・キッズホームページに募集案内を掲載。区役所及び区の文化・学習施設、コミュニティ施設に募集ポスターを掲出。また、自主校長会にも夏休み前に作品応募の依頼を再度行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・塾通い児童の増加、少子化等の影響により応募者数は減少傾向にある。応募作品は、学校の夏休みの課題として提出される割合が多い。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	・応募作品数は、毎年多少の前後はあるものの、ほぼ横ばいで推移してゆくものと思われる。今後も、応募作品の中心は、夏休みの課題として提出されるものが多数を占めると考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 本事業は、直接有権者を対象とするものではなく、子供を媒体として保護者である有権者に働きかけを図ると同時に、子供達に早期から選挙・政治の重要性を認識してもらい、次世代の有権者への選挙啓発という中長期的な性質を持つものであり、短期的客観的データで施策への貢献度を検証することは困難である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 学校、児童館等に対する募集の周知をさらに工夫する。 理由または具体的内容: 不参加校を対象にした募集用依頼文を作成・配布するなど募集を強化することで、協力校を増加する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 選挙・政治の意識の高揚を図ることが目的であるため、受益者負担は発生しない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現段階では、応募者に対しての記念品購入費を削減するほかはない。しかし、記念品による応募者の作品に対する評価は、児童・生徒の創作意欲を向上するものであり、記念品購入費の削減は活動量の減少と、成果の低下を招くことになりかねない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題: 学校を通じての応募だけでなく一般による応募があった。引き続き、明るい選挙推進委員を通じ、特に作品募集に関し区内各地域の協力を得て、学校のみならず、作品応募者の掘り起しを図る。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・引き続き不参加校を対象にした募集用依頼文を作成・配布するとともに、区立小・中学校校長会等でも夏休み前に再依頼する。 ・継続して区の公式ホームページイベント情報・キッズホームページに募集案内を掲載する。 ・区の文化・学習施設、コミュニティ施設にも募集ポスターを掲示する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・少子化による児童・生徒数の減少や他課の類似事業との競合により、ポスターコンクールの応募作品数は減少傾向にある。 ・不参加校を対象にした募集用依頼文を作成・配布するなど募集を強化することで、協力校を増加する。 ・一律の募集方法ではなく、対象者に応じたきめ細かい募集をするなど工夫を凝らした対策を講じていく。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 募集方法の研究及び工夫に関しては、経費の増減は発生しない。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		新成人等啓発			整理番号	860	枝番号							
担当部課名		選挙管理委員会事務局		コード	310000	連絡先 電話番号	3804	昨年度 整理番号	866	昨年度 枝番号				
係名				上位施策名				No						
予算事業名				選挙常時啓発		コード		8200		政治意識の高揚と政治参加の促進		73		
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		21 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野				政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				根拠法令等				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 満20歳の誕生日を迎える区内在住の新成人 区立中学3年生		(1) 公職選挙法第6条				(2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			・投票立会人の募集を兼ねた選挙啓発パンフレット(パスディカード)を、20歳の誕生日の週に到達するように発送する。 ・区立中学3年生の公民の副読本を作成して、授業で活用する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				・政治意識の向上と選挙は、有権者の政治に参加し、主催者として意思を政治に反映することのできる最大かつ基本的な機会であることを再認識してもらう。				
	活動指標名(式)			(1) パスディカード発送部数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) 20歳代投票率				
				(2)						(2) 新成人立会人応募数				
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%				
指標	活動指標(1)		部	5,115	5,500	4,992	5,500	4,885	5,500	5,500	88.8			
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	33	50	44	50	0	50	50	0.0			
	成果指標(2)		人	47	400	47	400	41	400	400	10.3			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	797	1,339	784	1,339	756	1,339	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円											
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.48	0.48	0.48	0.28	0.38	0.38	成果指標(1) 16年度は、参議院(選挙区選出)議員選挙の投票率。17年度は、衆議院(小選挙区選出)議員選挙の投票率。18年度は、選挙が無かった。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,368	4,349	4,349	2,537	3,443	3,443					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	5,165	5,688	5,133	3,876	4,199	4,782					
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,010	1,034	1,028	705	860	869					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	5,165	5,688	5,133	3,876	4,199	4,782						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)				
			新成人等啓発資材パンフレット一式					5,000	枚	315				
			パンフレット送付郵送料					5,272	通	422				
			パンフレット発送用宛名ラベル					6,000	枚	16				
			新成人からの返信用アンケートはがき郵送料					40	枚	3				
			その他 ( )							0				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 860 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	88.8	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	56.5
		18年度は、中学3年生向けの副読本を東京都選挙管理委員会で調製し配布を行ったため、副読本の調製を行わなかった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・20歳を迎える誕生日の属する週に投票立会人募集を兼ねた啓発パンフレット「パスディカード」を発送している。 ・パスディカードに若者の選挙に関する意見欄を設け、新成人の声の把握に努める。				
事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・時代とともに政治への無関心が拡大し、投票率は低下傾向にある。 ・平成12年度から「成人祝賀のつどい」では事業を行わず、啓発パンフレット「パスディカード(投票立会人希望申込返信葉書)」を誕生日の属する週に発行し、有権者としての意識の向上を呼び掛けている。 ・平成14年度から区立中学3年生用副読本を作製し配布を行っているが、平成18年度は、副読本を東京都で作製したため、本区では作製・配布を行わなかった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)					
	今後の予測	・20代の投票率は、今後も他の年代に比べ低く推移するものと思われる。				
事業のあり 方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:新たに選挙権を得る機会を捉えて、有権者として選挙制度についての最低限の知識を提供し、理解を深めてもらうことは非常に有効であり、また、選挙管理委員会の責務でもある。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 )	理由または具体的内容:立会人の募集に関しては、翌年の予定を返信(回答)するため、予定が立たない等の理由が考えられる。				
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:政治への無関心や投票の意欲が湧かない要因を十分研究し、問題を整理したうえで方策を講じる必要がある。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:選挙に対する意識の高揚を図ることが目的であるため、受益者負担はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:20歳を迎える誕生日の属する週に投票立会人募集を兼ねた啓発パンフレット「パスディカード」を発送しているが、「パスディカード」の作成費を下げると、新成人の投票意識の低下や投票立会人の減少、または若年層の投票率の低下を招くことになりかねない。				
協働等点 検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題:引き続き、町会・自治会等との関係を良好に維持し、協力を得ていき、また、選挙時にはゆう杉並の中・高校生運営委員会や中学生等に街頭啓発への参加協力を得て、選挙に対する意識の高揚に努める。				
	(3) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・「成人祝賀のつどい」の開催については、選挙管理委員会が共催するかどうかも含め、そのかわり方を慎重に検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・「成人祝賀のつどい」の選挙管理委員会のかかわり方については、区長部局及び杉並区教育委員会と検討する必要があるが、当該つどいは、20歳を迎え選挙権を有することの説明を行う最大の機会であることも考慮する必要がある。 ・区のHPにパスディカードの内容を掲載し、立会人を募集するという方法もあるが、新成人がすべてアクセスする訳ではない。郵送で誕生日前後に本人あてに「パスディカード」が送付されれば、目を通してもらえるであろうという期待がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 区のHPでパスディカードの内容等を掲載し、予算を上げずに実績を上げる努力をする。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地方選挙			整理番号	861	枝番号						
担当部課名		選挙管理委員会事務局	コード	310000	連絡先 電話番号	3802	昨年度 整理番号	868	昨年度 枝番号				
係名		上位施策名					No						
予算事業名		地方選挙	コード	8300	政治意識の高揚と政治参加の促進			73					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 選挙人、候補者、期日前(不在者投票場所)投票所、投票所、開票所		(1) 公職選挙法 (2) 東京都及び杉並区選挙執行規程 (3)								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		平成19年執行統一地方選挙の準備		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 公明・適正な選挙の執行により、選挙人の意思が正しく反映されるようにする。								
	活動指標名(式)		(1) 投票所(期日前投票所含む) (2) 選挙人		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 選挙の執行をした投票所(期日前投票所含む)(代) (2) 選挙のお知らせ発送世帯数(代)								
指標	区分	単位	16年度実績	17年度 計画	17年度 実績	18年度 計画	18年度 実績	19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%			
	活動指標(1)	所		78	78	1	1	79					
	活動指標(2)	人		437,000	439,644	451,239	453,721	451,398					
	成果指標(1)	所		78	78	1	1	79					
成果指標(2)	通		280,000	273,105	270,000	281,443	270,000						
総事業費・コスト把握	事業費	千円		149,353	136,594	216,754	37,785	228,265	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円		7,079	7,102	5,429	4,998	0					
	(内)委託費	千円		27,745	23,943	59,858	2,541	6,792					
	職員数(常勤 非常勤)	人		6.54	6.54	5.52	5.52	2.60	統一地方選挙は平成19年執行のため、平成18年度はその準備作業となる。したがって、今回の指標に投票率を設定しない。 平成18年度(平成19年3月23日~3月31日)に執行した期日前投票所は、区役所1か所。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	59,252	59,252	50,011	50,011			23,556		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++	千円	0	208,605	195,846	266,765	87,796	251,821					
	単位あたりコスト( - )÷	円		2,583,667	2,419,795	261,336,000	82,798,000	3,187,608					
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円		149,353	136,594	35,561	62,340			67,839		
特定財源計 +		千円	0	149,353	136,594	35,561	62,340	67,839					
差引:一般財源 -		千円	0	59,252	59,252	231,204	25,456	183,982					
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み	内 容		規 模		単位	事業費(千円)							
	選挙のお知らせ発送		281,443		通	14,809							
	投票所用スロープの購入		16		所	3,843							
	投票用紙自動交付機保守点検及び設定委託等		136		台	893							
	選挙事務アルバイト		139		人	683							
その他 ( )					17,557								

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	861	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.6	18年度予算 執行率%	17.4
選挙の執行は19年度で、18年度は準備のため						

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	期日前投票所の1カ所増設の準備をすすめた。(物品の購入、新規開設の周知等)					
---	---------------------------------------	--	--	--	--	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	公職選挙法の改正により郵便等による不在者投票制度の利用可能者が拡大され、また郵便等による不在者投票にも代理記載制度が導入されるなど、多様な選挙人のニーズに応えられるようになってきている。投票所では入口のほか出口にもスロープを設置するバリアフリー化など投票環境の向上が進んでいる。期日前投票制度が創設され、投票日当日、投票所に行かれない選挙人への更なる便宜が図られるようになった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	投票所施設のバリアフリー化の推進(出口の段差解消)、投票区変更の要望、「選挙のお知らせ」の表記の改善等、投票環境の向上に関する要望があった。
	今後の予測	選挙人の高齢化に伴い、投票環境向上の要望が増えることが予測される。若年層に対する、啓発活動を中心に様々な取り組みをしていく必要性が増していく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:理由:地方選挙は地方自治における区民の政治参加の最たる手段である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:意見要望を参考に投票所施設の改善を図る等して、投票環境の向上を進める。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:法律で定められているため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容:現在、投票所の設営等を委託化しているが、今後、は更なる選挙事務の委託化を進める。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 啓発活動については、明るい選挙推進協議会、明るい選挙推進委員と協働して選挙時啓発を行っている。また、投票管理者及び投票立会人については、各地区の町会や明るい選挙推進委員の中から選出し、一部の投票所では新成人の投票立会人を選任している。 今後は、若年層向けの重点的な活動を検討していく必要がある。
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会] (具体的内容 )	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
--------------------	---	--

今後の事業のあり方 (中長期)	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 多様な選挙人のニーズに応えられる投票環境の向上(出口の段差解消、休憩所の設置等)に努める。 選挙事務従事者の一部を委託で行う。 有権者数の増等に伴い、投票所の増設も含め投票区の見直しを行う。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校等既存施設の改修により、新たな段差が生じることがある。関係部署との連携を強化しながらバリアフリー対策を進める。 選挙は公正で正確、ミスのない執行が求められている。従って事務従事者の確保もその観点に立って考えていかなければならない難しさがある。事務処理を行う際、複数のチェック機能を設けるなどの措置を講じていく。

20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 統一地方選挙は平成23年のため	